

新規一転！新幹部ご紹介特別号

OB会長就任のご挨拶

昭和51年度入学 坂本 秀行

ロスガラOB会員の皆様方、ご無沙汰致しております。前会長大佐古先輩のご推挙を受け、身分不相応ながらOB会長の大役を引受させて頂く事になりました坂本と申します。

昨年は悲願のロスガラCD(豪華2枚組)を発売し、本年度グラミー賞受賞間違いなしの下馬評を受けるなどまさに日本音楽史上に足跡を残す偉大な年であったと思います。本年正月の祝杯で感涙にむせび慶びを贅えたのは私だけではないでしょう。(ナニ！未だ聴いていない？即、OB会幹事へ連絡して下さい。OB諸氏へは万難を排し特別幹旋の体制で望みますっ！)

ところで日本古来からの慣習に習い、このような御挨拶の場では現役で過ごした時代のエピソードを文面に散りばめるのが礼儀と聞き及んでおりますが、実は私は昔話が苦手です。きっとロクでもない学生生活を過ごしたヤツだと思われる諸氏がいらっしゃるかと思いますが、その通りです。でも、街を歩くとたまに見かける由美かおるのキンチョーのポスターや深夜TVのクレージーキャッツ映画など当時の世俗や風潮を後世に残す偉大な文化遺産も世にはある訳で、今回あえて昔話をさせていただきます。

当時、ロスガラは過去の大先輩の流れをくみラテンバンドを演じる一方、ビッグバンドとかジャズオーケストラとかジャズのジャンルにチョコチョコ手を出し始めていました。

そんな時、賛否両論怒涛のごとく渦巻く中思い切ってジャズを基調としたバンドに大きく変身する時代でした(結局、ロスガラの歴史ではマイナーな時代だったようですが)。記憶に残るイベントをチョットだけ列挙しますと

・山野ビッグバンドコンテストに現役バンドとして始めて出演(OBバンドで出たのがロスガラ初)。

割とハデ目のパップジャズばかり並べて演りました。曲構成と鳴原さんのピアノソロがスイングジャーナルで褒められ(確かいソノテルヲ氏)、入賞次点の力と書かれ初トライとしては結構気分よかったです。

・TV出演しました。

La Fiestaをちょんぎって2分にしました(チックコリアと大佐古さんにこの場をかりて謝ります)。確か香坂みゆきと五十嵐？が司会をやっていたかわいかったです。

・エピキュラスでコンサートをやりました。

他でも(サブナード、読売ランドなど)コンサートを演りましたが、エピキュラスではハイソ、ライト(どっちかだったかも知れません)、リズムとロスガラ4バンドで演ったという点で印象にあります。この共演者たちはスゴクヤバイと思い、くる日もくる日も練習に全くあけくれなかったのはリッパ。

・譜面台を作りました。

これは、今も使っているヤツ。設計はこの他ロスガラに貢献のなかったギター小林(昭和51年度入学)。

この他、ダンバを演りまくって稼いだりして、見方を変えれば、かつてやもすれば硬派的ノリのあったバンドを完全に軟弱化させてしまった時代なのかも知れません。この原稿を書きながら今の現役バンドもこんなノリかな？違うノリかな？とか考えると思わず年寄りじみた心境になり結構オツナもんだと感じりもしちゃっています。

とい〜う訳で、結局の所バンドはいつも好きな様にやるのが最高でOBは影に日向に応援する役割なのだとごくフツ〜の結論に至ったしだいでありませう。ソーダ、ソーダと思われる方、すぐに銀行に行ってお金をお預け下さい。口座に多大な御寄付をお願いします。微力ながらOB会幹事一同頑張りますので今年度も宜しくお願いします。

幹事就任のご挨拶

昭和58年度入学 牧本 直樹

今回幹事に就任いたしました牧本と申します。ロスガラではギターを弾いておりました。前回の幹事の方々(森田さん・持田さん・森丸さん、何故かみんな「も」で始まる)が、仮装大賞の制定、ロスガラ創部30周年記念CD・ビアオの製作といった政策を実行されたあとだけに、やりづらい気もしますが、自分なりに頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

私はOBになってから現在までずっと東工大で過ごしておりますが、OBになって数年を経てからは、現役との交流もあまりなくなっていました。距離的には現役に非常に近いOBの一人だろうと思っておりますので、今回の幹事就任を機会に、現役とOBとのパイプ役を果たせば、と思っています。定期演奏会はもちろんのこと、山野 Big Band Jazz Contest や工大祭といった現役情報を皆様にお知らせいたしますので、時間がありませんら奮ってご参加くださるようお願いいたします。

昭和57年度入学 鴨谷 あゆみ

今回幹事に就任いたしました、鴨谷と申します。といってもぴんと来ない人もたくさんいるかもしれません。“じゃん”です。と言うともうちょっと知ってる人が多いかもしれません。自分でも覚えていないくらい昔ロスガラでアルトを持っていました。なんともう10年近く前だ！(自分で言うてどうする)

突然降って湧いてきた幹事に戸惑いも覚えますが、どうぞよろしくお願ひします。幹事業の中で主に会計を担当しています。この機会に(どの機会だ?)ぜひ、みなさま、会費を払って、寄付もしてみても定演とその後の定宴で盛り上がってみましょう。自分も楽しんで、更に現役のみなさんの為にも一肌脱げるなんて最高だと思いませんか?千葉の幕張なんて所にいても十分参加できます。距離は問題ありません。

ということで、ぜひみなさまがロスガラOBとして活動される事を祈念いたしまして幹事就任の挨拶に変えさせていただきます。

昭和60年度入学 島井 田中

余白も残り少ないので、手短かにいきます。島井田中とは、島井謙治と田中健一郎の二人を合わせたものがあります。なぜか二人ペアで考えられていますが、おのおのが日本の将来を担う立派な研究員です。幹事として精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

幻の名盤！ロスガラ創部30周年記念CD (2枚組) 領布のお知らせ

昨年12月、わずか300組だけ限定製作され、マニアの間では「幻の名盤」と垂ぜんの的であった「ロスガラ創部30周年記念CD」のうち約100組が先日東工大南4号館にて発見されました。これを記念して、特別価格にて販売いたしますので、奮ってお申し込み下さい。

領布価格 4,000円(郵送ご希望の方は送料360円)

申込方法 下記まで葉書、電話、電子メールにてお申し込み下さい。

お支払い 銀行振込みか現金書留をご利用下さい。振込先、現金書留の送り先は会費と同じです。

CDがお手元に届いてから2週間以内にご送金下さい。

OB名簿更新にご協力を！

昨年からロスガラOB名簿はデータベース化され、多岐にわたる情報が蓄えられています。更に、コンピュータネットワークと電子メールを利用した名簿検索システムも実用化されています(詳細は別記事にて)。昨年配布した名簿はもちろん、あなたに届けられた本会報の宛先もこのデータベースを利用しています。

現在のところ、データベースには次の情報が蓄えられます。

氏名	旧姓	卒業学科	パート
住所	電話番号	FAX 番号	
勤務先	勤務先電話番号	勤務先 FAX 番号	
実家 (主に学生用)		実家電話番号	
E-mail アドレス		その他雑情報	

常に最新の情報を得られるために、皆様のご協力をお願いします。住所変更の際には是非とも下記宛にご一報を。本会報が届けられた住所に不備、間違い等がある場合にも早急にお知らせください。まもなく予定しております最新OB名簿配布に反映されます。

ホットで精力的な活動を展開している相模原支部、および最近結成されたイギリス支部におけるOB活動報告を紹介しよう。

相模原支部活動報告

昭和60年度入学 鈴木 章夫
(相模原支部事務局)

我々、相模原支部はロスガラOB会最大の神奈川支部の下部組織として3年前に発足しました。一昔前までは、ロスガラに殆ど縁のなかったこの地区に、ここ最近は吸い込まれるように続々とロスガラOBが集結するようになり、OB密度は非常に高い状況です。しかも、「相模原に在住もしくは勤務する者、または相模原に熱い思いを抱いている者」というオープンな入会資格も相成って、現在の参加者はかなりの数になっています。

相模原支部の魅力は、何といても幅広い活動内容です。いくつもの同好会がありますが、そのうちの幾つかを紹介します。

テニス同好会は、藤縄俊之氏勤務のシュルンベルジェの敷地内(淵野辺)にあるコートを使用し、月1回程度の練習を目標としています。しかしながら、今までの様子を見る限りだと、テニスをしているよりもビールを飲んでいる時間の方が圧倒的に長い、というのが現状です。テニスコート脇に、ここに寝っ転がってビールを飲んでくださいと言わんばかりに芝生が生えているのがいけません。また、テニスの後に企画される宴会、鍋大会、〇〇喰い放題大会等でもバカ食いバカ呑みをしてしまい、結局、消費カロリーよりも摂取カロリーの方が圧倒的に多いという、全くもって不健康この上ないというのが事実です。おまけに、日曜日に企画をした日には、翌月曜の有休を取る者も後を絶ちません。一方では、手の離せぬ乳幼児を持つ奥様方にとっては、愉快なベビーシッター達に我が子を任せることが出来るとあって、大好評です。

乾麺同好会(夏期のみ)は、柴田純治家自慢の直径80センチの大ざるに、全国各地の冷麦、そうめん、そばを並べて食べ比べを行うという、極めて風流なものです。

その他にも、鍋同好会(冬期のみ)、町田でジャズを聞く会などもあり、それぞれそれなりに精力的に活動を行っています。

以上、簡単に我々の活動内容をご説明しました。参加資格は前述の通りですので、ほとんどの方が適合すると思います。興味のある方は、相模原支部リーダー 藤縄俊之(昭和54年度入学 BS)または、鈴木章夫までご連絡下さい。

特集

ロスガラOB活動報告

ここ数年のロスガラOBの活動が、近年希に見るほど活発で非常に盛り上がって来ていることについては、各方面のメディア等で皆さんご承知かと思えます。特に各地のジャズフェスにおけるめざましい活躍ぶりは立派なもので(勿論、出演しているわけではない)、毎年観客達の注目を集め、我々の見物を目当てに高い入場料を払って見に来たというお客さんもいるとのこと。一昨年については、夏の3大ジャズフェスであるライブアンダー、斑尾、マウントフジ、すべてのTVオンエアーに登場するという(勿論、観客として)ジャズフェス・グラッドスラムを達成。昨年は、あの伝統的ジャズ専門誌「ジャズライフ」にも掲載されるまでに至った。また、オルケスタ・デル・ソルのベッカー氏からは「お前ら、観客のプロだ!」、高橋ゲタ夫氏からは「こいつら、ライブ会場に来て出演者を肴に宴会をして勝手に盛り上がってるとんでもない奴らだ。」といった数々の賛辞も頂戴しているという。

ということで、少々前置きが長くなってしまいましたが、今号から各地のOB達の活躍ぶりを紹介してみたいと思います。今回はまず第1回目として、現在最も

イギリス支部活動報告

昭和54年度入学 菅野 博靖

今年前半は話題にのぼる機会も多かった英国 Oxford にロスガラOB会イギリス支部が開設されたのは、1993年4月末のことである。支部と言っても要員は筆者一人だけであるが、英国の Jazz、Latin 音楽の現状を視察し、英国文化とロスガラの諸要素との関連を考察するという重大な使命を担っている。もちろん表向きは、筆者が勤務する富士通と Oxford 大学との研究協力という隠れ蓑をかぶっての行動である。

英国人は音楽好きである。古いものを大事にする彼らは特に古典音楽を愛しているし、この国の音楽家はその発展に大きく寄与してきた Rock はやはり広く浸透している。そう、確かに CD shop を覗くと分かることだが、London の Virgin や Tower のような巨大店は除いて、Jazz とか Latin は片隅に追いやられているようなのだ。しかし、そんな中で Oxford にも Jazz 愛好家たちのグループはあり毎週ライブを聞かせてくれるパブもある。年に一度 Oxford Jazz Festival なるものも開催される（今年は5月、Mal Waldron & Steve Lacy Duo が £5 で聴けたのは嬉しい）。また、TUMI という Latin America の民芸品、装飾品などを扱う店があり、独自ブランドのCDも販売している。

英国人はまた酒が好きである。特にビールにはこだわる。良く言われているように、彼らは生温いビールをちびちび飲む。日本人からすると奇妙なことに違いないが実際こちらへ来てパブなどで試してみると何故かうまいのである。もちろん、ビール自体の違いもある。冷やさずに飲んで美味しいのはやはりビターだが、ラガーでも日本のと違ってコクがある。もう一つは気候である。夏といっても日本と比較するとまるで夏らしくない。日陰に入ると肌寒かったりする。冬などは最高気温が摂氏0度という日もあり、3時にもなれば暗くなってしまう。こんなところでわざわざビールを冷やすなんていう習慣が生まれるわけがない。それよりもパブで仲間とくだらない冗談を言いながらちびちび飲む方が美味しい飲み方だと考えているのだろう。なかなかロスガラの的ではないか（回文やクイズを作っているかどうかは不明）。畢竟、伝統を重んじこだわりを持ち同時に新しいものを取り入れるというこの国の文化も、対象が異なるだけで Latin 音楽と Jazz に取り組んできた我々ロスガラ人とそう遠くないのではないか、というのが短い滞在の中での印象である。

当支部も、8月末に西田（昭和56年度入学）が赴任し、いよいよ支部らしくなってくる。欧州方面を訪れる機会がある方はぜひ立ち寄り寄っていただきたい。筆者の滞在予定は94年の4月末までだが、その後も Reading

にて活動は続けられる予定である。ちなみに、Oxford 事務所の窓から道をはさんでかつて小和田さんが住んでいたと言うフラットを窺い見ることができる。

7月にして秋の気配を感じる Oxford にて
（夏はどこへ行ったあ）

緊急インタビュー

高澤峰之氏、キューバへ音楽留学

か!!?

オルケスタ・デル・フト（注1）のティンパレス奏者として有名なミネユキント・高澤氏がこのほどめでたく結婚！しかもキューバへ音楽留学する！との噂を聞き付け、その真相を正すため我々OB会報取材班は取るものも取り敢えず、出国前の渦中の人へのインタビューを試みた。

記者：取り敢えず、ご結婚おめでとーございました（注2）。

高澤：あ〜、どうも有難うございます。長年懸案だったことではありますが、まあ、そーゆーことで、なるよーになるってことで…ってのが素直な感想ですね。

記者：早速ですが、キューバへ行かれるそうで。これはやはり、一連の結婚の儀の一環と理解してよろしいのでしょうか？

高澤：それは明らかにしておかなければならないのだが、これは結果として新婚旅行になったというだけで、当初ワシとしてはデルフト有志諸君と行けたらいいなと思って、色々声をかけていたんだが…。

記者：誰も本気にしなかったと？

高澤：そー、誰一人として首を縦に振らなかったんですよ。森丸君（注3）に至っては「エへへ」と笑うだけで。そーしているうち、アモール（注4）が「何で私を連れてかないのよ！」って言い出しましてね。結局ワシとアモールが残ったって訳ですよ。気がついたら2人でした。

記者：てーことは、これは合宿と考えたほーがいいんですか？

高澤：そーですね、合宿を企画して、誰もものらなくて、2人合宿になったと理解して下さい。

記者：引退してから長いOBの方にはありがちな話ですね（笑）。ところで、以前デルフトのメンバーがサルサの故郷プエルトリコを表敬訪問して話題を振りまきましたが、今回何故キューバへ？

高澤：キューバと言えばルンバ、ルンバといえばサル

サの先祖みたいなものですからね。実はキューバにコンプト・folklorico・ナショナルという、年に2回開校している国立の音楽&ダンス教室がありましてね。

記者: それはロシアで言う「ボリショイバレエ団」みたいな物ですかね?

高澤: 金取って見せ物やるとこじゃありません。一流の先生方が集まって、外国人相手に講習会を開くんです。

記者: それは日本で言う「英会話のNOVA」みたいなものでしょう?

高澤: まー、そんなとこです。そこは、あのチカ・ブーン(注5)も実技を習いに行ったということで、ワシも是非行かなくてはと常々考えていたんですよ。ですから、ワシも会社の方には“音楽留学”ってことで、3週間休みを取ってます。

記者: 良くそんなことで有休くれますね。そこで主に音楽とダンス、どちらを学ぼうと?

高澤: 音楽って言っても、パーカッション(ベルクシオン)でレベルが1から3に分かれているんですよ。現地に行って、入学手続きをして選ぶんですが、実技試験がありまして、そこである程度振り分けられるみたいです。

記者: ダンスの実技試験なら大丈夫でしょう?

高澤: これも色々コースに分かれているんだが、手元にあるパンフをみてもどんな踊りかさっぱり判らん。

記者: アモールおばさんはどーすんですか?

高澤: それが今悩んでいるんですよ。ダンスにするか、ベルクシオンのレベル1にするか。

記者: それで留学期間は?

高澤: 学校は2週間です。実際の授業は午前中だけです。

記者: さすが中南米ですね。午後は何やるんですか?

高澤: 月並みですが観光しようと思ってます。

記者: ところで学校はキューバのどこにあるんですか?

高澤: ハバナです。

記者: あー、キューバの県庁所在地ですね。

高澤: キューバは島が1つなんですけど、大きく分けて見るとこは2つあるんだって。1つはハバナ、もうひとつはサンディアゴなんだが、これが日本で言うところの青森の八戸と山口の下関くらい離れてるそーで、とても2つは回れない。今回はなんつーたって音楽留学だから学校が一番。ってわけで、今回はハバナだけ。

記者: では、ハバナを中心にキューバ文化を学んでみようというわけですか?

高澤: それと同時にですね、日本と「犬」(注6)という漢字と、それから少林寺武道の精神を浸透させようと考えています。

記者: それは大変ですね。今日はどうも有難うございました。気を付けて行ってきてください。

高澤: どーも。

というわけで、今回の急場凌ぎ(注7)とも取られる緊急インタビューは無事終了した。次号「定演直前号」では“高澤氏のキューバ体験記”を予定している。どうぞお楽しみに。 ADIOS!!

注1) ロスガラOB有志で結成している世界最大規模のサルサ風ラテンバンド。前々号参照。

注2) 氏は6月27日、正式に結婚された。2次会は来る10月30日とか。

注3) 本名柴直樹。デルフトの音楽的リーダーである。

注4) 氏の新妻。本名不詳。デルフトでは「アモールよしえ」として知られる。

注5) プロのサルサバンド。デルフトのメンバーにファンが多い。

注6) 「犬」と書いて「ふと」と読ませる。

注7) 使い古されたギャグのひとつ。「キューバ」と「急場」を賭しているらしい。

ロスガラメーリングリスト、および名簿検索システムのご紹介

現在、ロスガラメーリングリスト(以下、LGML)と呼ばれる、電子メールを利用した情報交換の場が存在します。あなたがもし外部(社外等)と電子メールのやり取りが可能で、しかもまだLGMLに参加していないのであれば、是非ともこの機会に参加することをお勧めいたします。参加資格は、ロスガラのOBまたは関係者であることです。関係者はいくらかでも解釈を広げることが出来るので、あなたの行きつけのタバコ屋のおばあちゃんが興味を示せば、もちろん参加可能です。

メールの内容は非常に多岐にわたり、今後のロスガラOBの在り方に関する議論から合宿情報、朝顔の育て方、ひいては私信をやり取りするものもいます。

一方、ロスガラOB名簿も電子メールによるネットワークを利用した検索システムが構築されています。現在のところ仕様はいたって単純であり、名前からその人に関する情報が得られます(将来的には更に凝っ

た検索方法が開発されるものと思われます)。会社などから急遽、飲みに誘わずにはいられなくなったときに非常に便利です。もはやロスガラOB名簿を持ち歩く必要はありません。

10/16, 17 (土・日) 工大祭
12/18 (土) 第27回定期演奏会(於 ヤクルトホール)

という予定になっています。工大祭から定演までの間は、他大の学園祭まわりやお仕事などをしていく予定です。皆様ふるって御参加下さい。

といったわけで最後になりましたが、部員一同日々練習に励んでおりますので、今後ともご支援、御指導のほどよろしくお願いいたします。

'93 マネージャー 小池 淳一郎

現役ロスガラ近況報告および今後の活動予定

盛夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。'93のロスガラも「時のたつのは早いもので」すでに半年以上たってしまいました。春先の新歓では、新入生が入ってくるか心配でしたが、どうにか十数名が入部してきました。ゴールデンウィーク中の春合宿も、忙しい中OBの方々が多数参加してくださり、最終日の宴会は総勢80名近い人数で大盛況でした。新入部員の教育という春合宿の名目も果たし、例年どおり今年も「おそらく二度とあの宿を使うことはないだろう」という状態で、無事に春合宿を終えました。ちなみに来年の春合宿ですが、ゴールデンウィークの富士五湖周辺は寒い(そろそろ使える宿が尽きてきた)ということで暖かい千葉の房総あたりにしようという企画があがってるようです。コンセプトは「房総で暴走」しようとかバカなことを誰かが言っていました…。まだ未定のことなので何ともいえませんが、決まり次第、時期マネージャーから何らかの形でお知らせがあると思います。

春合宿後のジョイントコンサートについてですが、5月29日には四工大のコンサートを行い、ホールの使用時間の関係上、早い進行であつという間におわってしまいました。6月26日には5大学+1の代々木野外音楽堂でのコンサートがありましたが、あいにくの雨で結局、今年は都合によりICU(国際基督教大学)の講堂でほとんど関係者だけの状態で行い、それでもどうか盛り上がり無事終了しました。

この原稿を書いているのは夏合宿前の準備段階といった時期で、今年は7月27日～8月3日まで去年と同じグリーンシャトーみやざわで夏合宿をする予定です。ついてないことに今年は斑尾のジャズフェスがずれてしまい(山野のコンテストに重なってる)合宿の中日は宿の近くのプールにしようかといった状況になってしまいました。以下に夏合宿以降の現役ロスガラの活動予定をお知らせします。

8/7, 8 (土・日) 山野 Big Band Jazz Contest (ロスガラは8日の15番目4時すぎに登場)

訳者注: 本記事は山野のコンテスト以前に書かれたものですが、急激な円高のためにやむを得ずコンテスト終了後に配布されてしまいました。今後の細川政権に幹部一同期待しております。

結果としてロスガラは残念ながら賞を得ることは出来ませんでした。順位はなんと14位でした。不況のおり現役諸君は大変よくがんばりました。

会報記事の募集

あなたの書いた記事がロスガラOB会報に載るなんて、素敵じゃない?この会報を、楽しい情報交換の場として活性化させることが、我々新幹事の夢です。是非ともあなたの近況をご報告ください。内容は不問です。悩み事から自慢話まで、思うままに筆を走らせてください。久しく定宴後のOB会に参加出来ず、疎遠になってしまったと悩むことはもうありません。本会報は行方不明となっていないロスガラOB全員に配布されています。きっとあなたの記事を読んで、懐かしんだり、感銘を受ける方がいるに違いありません。さあ、今すぐ近況を下記まで送りましょう。

編集者後記

6ページにも渡る本会報はいかがでしたか。我々新幹部の意気込みを少しでも感じていただければ幸いです。次回は号外として、皆様からの住所等の訂正を得た後、名簿を修正して最新版をお届けいたします。

次号予告

「高澤氏キューバ体験記」

連載「ロスガラの妻たち」スタート!

特集「緊急対談!ノラ(オルケスタ・デ・ラ・ルス) v.s. フェーゴ山崎氏(オルケスタ・デル・フト)!?」

を予定しております。お楽しみに。